

公益財団法人小岩井農場財団 2023年度事業計画

事業期間：2023年4月1日から2024年3月31日

本財団は、「重要文化財小岩井農場施設の建造物を保有し、それらに対し修復・管理・保存環境の整備を図ると共に、それら建造物の学術的調査研究及び公開・普及を図り、もって学術・文化の振興に寄与する事」を事業目的としている。

本財団事業開始から5期目となる2023年度として、上述の事業目的の一層の推進並びに充実を図るべく、下記の通りの諸事業を計画する。

記

1. 文化財の公開と普及活動

本財団が保有する農業近代化遺構である重要文化財建造物21棟を広く一般に公開し、わが国の農業近代化に於ける牧畜業の発展の歴史の啓蒙を中心に普及活動を行なう。

- (1) 公開・普及活動の実施にあたり、その公開体制・公開範囲・公開方法等を検討の上策定し、公開を実施する。
- (2) 公開・普及活動の充実の為に必要な、説明パネル等の制作、文化財解説の小冊子の制作及び広報素材の整備等の活動を推進する。
- (3) これら重要文化財群について、わが国の農業近代化に於ける文化・技術・歴史的な価値並びに意義を広く一般の方々に普及させるべく企画する。

2. 文化財の保存・補修計画の策定と実施

重要文化財21棟の保存・修復については老朽化が加速しており、「小岩井農場重要文化財建造物耐震診断及び補修全体計画表」に基づき、文化庁及び有識者の協力を得て、本年度も対象建造物の耐震補強計画の具体的な策定及び修理対象建造物の基本設計業務を行うこととしている。

(1) 耐震補強計画事業実施予定建造物

2022年度に実施した、第三号牛舎ほか3棟の耐震診断及び同診断結果に基づく耐震補強計画の対象物件として、次のものを予定している。

- 第三号牛舎
- 第一号サイロ
- 第二号サイロ
- 育牛部倉庫

(2) 修理の為の基本設計着手対象建造物

■本部事務所

**3. 文化財の保存補修及び管理並びに公開普及の為の資金**

重要文化財 2 棟の保存・補修・管理並びに公開・普及の為の資金、並びに財団運営に必要な資金として、三菱グループ企業を中心に約 30 社より、2023 年度に於いても約 70 百万円の寄附金を受贈頂く。

**4. 文化庁よりの文化財補助金**

上記 3 項にある、三菱グループ企業等からの 2023 年度の寄附金受贈と並行して、重要文化財建造物の耐震診断事業に対し、文化庁より国庫補助事業としての支援を頂く。

**5. 文化財の研究の推進**

重要文化財 2 棟の研究活動については、大学教授等の有識者の指導、助言の種々協力を仰ぎ学術研究の成果を蓄積していくと共に、小岩井農場施設に類する農業近代化の重要文化財群である北海道大学第二農場を擁する北海道大学との学術連携協定の締結及び農業近代化遺産企画展の北海道大学総合博物館及び小岩井農場重要文化財ギャラリーを巡回しての開催を計画する。

**6. 展示館の整備**

本財団が保有する「重要文化財小岩井農場施設」の理解を促進する目的で、小岩井農牧株式会社まきば園内に 2021 年 4 月に開設した「小岩井農場重要文化財ギャラリー」は、重要文化財の概要紹介パネル展示や高精細模型と共に VR 映像等、小中学校の校外学習等でも分かり易い展示内容となっており、公開、普及の中核施設として尚一層の整備と共に来館を推進する。

以 上

公益財団法人小岩井農場財団

代表理事 辰巳 俊之

※2023年度公益財団法人小岩井農場財団第5期事業計画詳細

1. 主な事業活動等予定

年月日	事業内容	摘要
2023年4月1日	小岩井農場財団第5期事業開始	
2023年4月1日	令和5年度耐震診断事業交付決定通知	第一号牛舎他 11棟4カ年事業2年目
2023年4月中旬	寄附金御依頼	各社他
2023年5月上旬	耐震診断事業契約及び着手	見積合せ
2023年5月上旬	本部事務所基本設計事業の発注	
2023年5月上旬	2022年度決算について監査	
2023年5月中旬	第1回通常理事会開催	事業報告及び決算・役員改選・評議員改選
2023年6月上旬	定時評議員会開催	事業報告及び決算・役員改選
2023年6月上旬	第1回臨時理事会開催	代表理事選定
2023年6月末迄	内閣府事業報告等書類提出	
2023年8月中旬	耐震診断事業有識者会議	
2023年9月～10月	北海道大学との共同開催にて、農業近代化に関わる合同企画展開催	重要文化財ギャラリー
2023年10月	全建連「近代化遺産全国一斉公開」参加	特別公開・セミナー
2023年10月中旬	第2回臨時理事会開催	代表理事業務報告
2024年1月末	令和6年度文化庁補助事業交付申請	耐震診断、耐震補強工事他
2024年2月中旬	耐震診断事業有識者会議	
2024年2月下旬	第2回通常理事会開催	令和6年度事業計画及び予算案
2024年3月末迄	内閣府事業計画等書類提出	内閣府
2024年3月末	令和5年度補助事業実績報告提出	文化庁

2. 具体的事業内容

1) 調査研究・保全事業

①文化財の管理、修理等

・文化財建造物のき損等に関する日常管理の他、気象異常に伴うき損等の管理、修理手続き等

②令和5年度耐震診断事業実施(文化庁補助事業)

耐震診断事業(第三号牛舎、第一号サイロ、第二号サイロ、育牛部倉庫の耐震補強案策定及び策定の為の追加調査)総事業費19,452,000円

③本部事務所の修理に向けた基本設計の実施

実施期間1年間

2) 公開普及事業

①上丸地区の見学利用促進及び運營業務状況の検証

②文化財企画展及びセミナー

- ・北海道大学との連携の一環による農業近代化遺産研究報告企画巡回展を北海道大学総合博物館及び小岩井農場重要文化財ギャラリーで開催予定
- ・保存活用検討委員の有識者によるセミナーを小岩井農場にて開催(1回)予定
- ・全国近代化建造物連絡協議会主催「近代化遺産全国一斉公開」事業に参加  
文化財特別公開及びウォークツアアの開催

③展示館事業

- ・重要文化財ギャラリーに係る成果調査(訪日外国人への魅力発信についてのアンケート等)及び検証
- ・耐震診断及び先端技術活用調査結果等の展示企画
- ・多言語解説アプリの利用促進

以上